

宝塚市震災ドキュメント

(平成7年1月17日から1年)

あの日・あの時

12月	
2(土)	◎阪神競馬場が再開
7(木)	◎平成7年第6回宝塚市議会(定例会)が開会
11(月)	◎震災で被害を受けた市庁舎の修繕工事始まる。 総工事費約1億2,600万円。平成8年3月末までに完了 ◎教育総合センターで「子どもを通して見る戦後50年展」を開催(～16日)
12(火)	◎仁川駅前地区再開発事業の現地事務所(鹿塩2)オープン
14(木)	◎大規模な災害時にも機能できる情報網を整備するため、パソコン通信を利用した災害対応総合情報ネットワークと地域防災無線通信の導入を決定 ◎県は国勢調査の速報値を発表 被災地の人口減が約15万人、住民票を残したまま県外へ被災者が6万4,000人を超えているなど 宝塚市 総計 20万2,547人 参考:衆議院小選挙区別人口1/1推計人口20万6,641人 増減△4,094人 53万5,522人
16(土)	◎日本中央競馬会の武豊騎手が阪神競馬場で市に義援金を寄付 ◎市長、市議会議長が政府与党震災合同調査団に陳情
18(月)	◎市長が震災復興にかかる財政支援要望のため自治省等に陳情
20(水)	◎宝塚市ボランティア活動センターがソリオホールで1日ボランティア教室を開催
21(木)	◎北但社会福祉協議会連合会と城崎、出石郡の6町の社会福祉協議会が、仮設住宅8箇所支援のため「青空市」を開催 ◎市議会閉会
27(水)	◎市議会震災復興対策特別委員会開催 ◎平成8年度から3カ年の実施計画を発表 全体で773億1,720万円(81事業)のうち、91.2%にあたる704億8,000万円(46事業)が震災復興事業。安藤忠雄氏設計の温泉利用施設はさらに3年間実施を凍結することに ◎自治省消防庁は震災死者数を6,308人(26日現在)と修正し発表 直接死者だけでなく、震災後に死亡して震災との因果関係が認められて災害弔慰金の支給対象となった「震災関連死者」も含まれる。国が関連死者を災害死と認めたのはわが国史上初めて(内訳:兵庫県6,279人、大阪府28人、京都府1人)